

青森県経済統計報告

平成20年2月28日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口(平成20年2月1日現在) 1

県人口	1,405,587人(対前月 1,151人 減少)
自然動態	691人減少(出生者数 838人、死亡者数 1,529人)
社会動態	460人減少(転入者数 1,126人、転出者数 1,586人)

2 本県の経済動向

(1) 経済概況

本県経済は、消費面の弱さが続くものの、生産面で好調な動きがみられる。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成19年12月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が102.9で、前月比7.7%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は103.6で、前年同月比1.4%の上昇となり、3ヶ月連続で前年同月を上回った。 ... 2
- (2-2) 雇用情勢 平成19年12月の定期給与は226,843円で前年同月比0.4%増となった。総実労働時間は156.7時間で前年同月比2.9%減、所定外労働時間は10.5時間で前年同月比3.5%減となった。平成19年12月の有効求人倍率(季節調整値)は0.47倍で、前月比0.03ポイント上回った。 ... 3
- (2-3) 物価 平成19年12月の青森市消費者物価指数は、平成17年を100として101.1となり、前月と比べ0.7%の上昇、前年同月と比べ1.2%の上昇となった。 ... 4
- (2-4) 個人消費 平成19年12月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが162億3千8百万円で前年同月比4.0%減と10ヶ月連続で減少、既存店ベースでは5.0%減と25ヶ月連続で減少となった。平成20年1月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,812台で、前年同月比1.6%の減となり、5ヶ月連続で前年を下回った。 ... 5
- (2-5) 住宅建設 平成19年12月の新設住宅着工戸数は578戸で、前年同月比3.0%増となり、6ヶ月ぶりに前年を上回った。 ... 6
- (2-6) 電力使用量 平成19年12月の大口電力使用量は2億3,275万kWhで、前年同月比6.4%減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。 ... 6

(3) 景気動向指数(平成19年12月分) 7

先行指数	44.4%(2か月ぶりに50%を下回った)
一致指数	33.3%(2か月連続で50%を下回った)
遅行指数	50.0%(2か月ぶりに50%を下回った後50%となった)

1 青森県の推計人口(平成20年2月1日現在)

【概況】

平成20年2月1日現在の本県推計人口は、1,405,587人で、前月に比べ1,151人の減少となった。

○自然動態

出生者数が838人、死亡者数が1,529人で、691人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,126人、転出者数が1,586人で、460人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数				
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
19.2.1	1,420,348	670,000	750,348	-0.082%	-1,171	-552	841	1,393	-619	1,099	1,718
19.3.1	1,419,497	669,462	750,035	-0.060%	-851	-393	763	1,156	-458	1,134	1,592
19.4.1	1,412,767	665,701	747,066	-0.474%	-6,730	-465	831	1,296	-6,265	3,722	9,987
19.5.1	1,412,047	665,362	746,685	-0.051%	-720	-474	794	1,268	-246	4,208	4,454
19.6.1	1,411,117	664,842	746,275	-0.066%	-930	-310	1,007	1,317	-620	1,596	2,216
19.7.1	1,410,247	664,306	745,941	-0.062%	-870	-361	812	1,173	-509	1,233	1,742
19.8.1	1,409,665	664,003	745,662	-0.041%	-582	-267	948	1,215	-315	1,939	2,254
19.9.1	1,409,176	663,804	745,372	-0.035%	-489	-414	850	1,264	-75	2,220	2,295
19.10.1	1,408,589	663,460	745,129	-0.042%	-587	-277	765	1,042	-310	1,710	2,020
19.11.1	1,408,039	663,193	744,846	-0.039%	-550	-321	982	1,303	-229	1,743	1,972
19.12.1	1,407,522	662,925	744,597	-0.037%	-517	-420	826	1,246	-97	1,309	1,406
20.1.1	1,406,738	662,556	744,182	-0.056%	-784	-534	769	1,303	-250	1,162	1,412
20.2.1	1,405,587	661,894	743,693	-0.082%	-1,151	-691	838	1,529	-460	1,126	1,586

1月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平10.1	11.1	12.1	13.1	14.1	15.1	16.1	17.1	18.1	19.1	20.1
自然動態	出生者数	1,192	1,131	1,110	1,101	1,022	1,048	998	913	851	841	838
	死亡者数	1,232	1,473	1,398	1,322	1,255	1,483	1,413	1,420	1,536	1,393	1,529
	自然増減数	-40	-342	-288	-221	-233	-435	-415	-507	-685	-552	-691
社会動態	県外からの転入者数	1,466	1,427	1,350	1,402	1,429	1,460	1,334	1,237	1,119	1,099	1,126
	県外への転出者数	1,541	1,478	1,309	1,532	1,399	1,663	1,500	1,517	1,679	1,718	1,586
	社会増減数	-75	-51	41	-130	30	-203	-166	-280	-560	-619	-460

1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口(確定値)。

2 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

3 算出方法

県の推計人口 = 前月の人口 + 自然増減数(出生者数 - 死亡者数) + 社会増減数(県外からの転入者数 - 県外への転出者数)

4 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

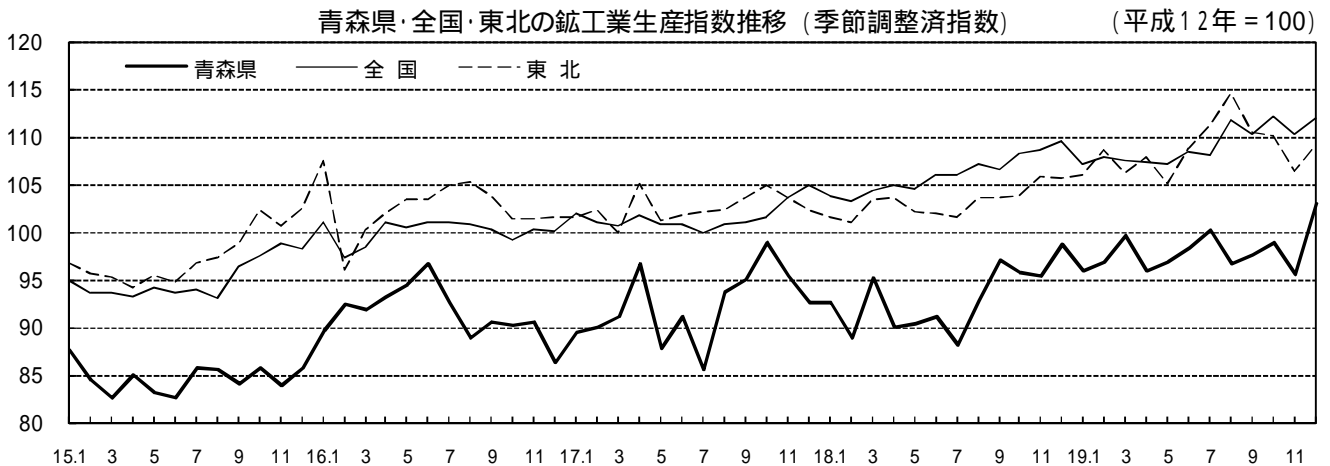
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

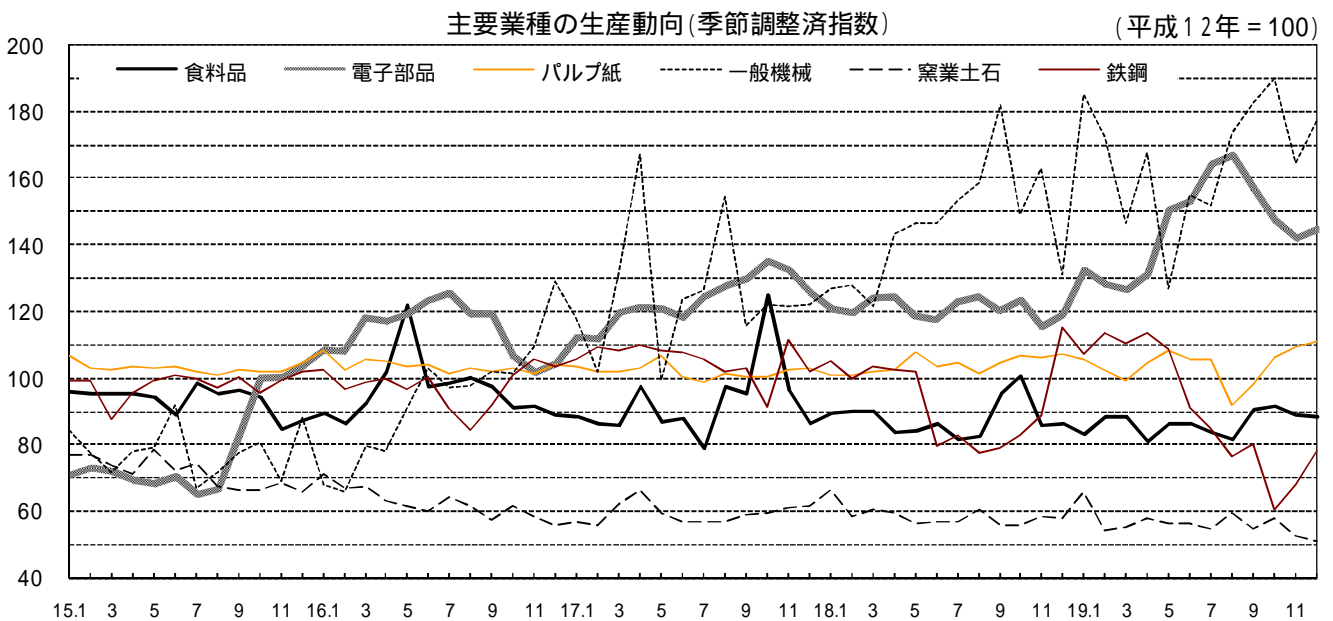
平成19年12月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が102.9で、前月比7.7%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は103.6で、前年同月比1.4%の上昇となり、3ヶ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、輸送機械工業、電気機械工業などが上昇に寄与した一方、食料品工業、窯業・土石製品工業、家具工業などが低下し、鉱工業全体では7.7%の上昇となった。



業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 +7.7%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	57.6	32.7	食料品工業	-0.9	-2.4
輸送機械工業	319.2	19.1	窯業・土石製品工業	-2.9	-1.0
電気機械工業	14.6	17.8	家具工業	-12.7	-0.4
一般機械工業	7.6	8.6	その他製品工業	-4.6	-0.3
鉄鋼業	14.6	6.0	情報通信機械工業	-36.4	-0.2



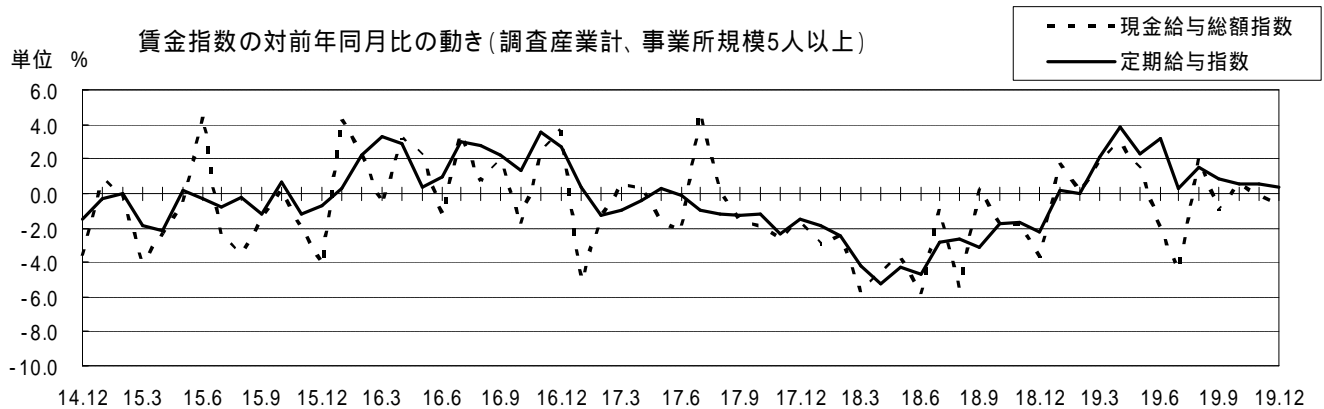
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成19年12月の定期給与は226,843円で定期給与指数(平成17年=100)では98.6となり、前年同月比0.4%増(現金給与総額449,527円、現金給与総額指数164.8、前年同月比0.8%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.6となった。

総実労働時間は156.7時間で、総実労働時間指数は98.4となり、前年同月比2.9%減となった。このうち、所定外労働時間は10.5時間で、所定外労働時間指数では106.1となり、前年同月比3.5%減となった。

平成19年12月の有効求人倍率(季節調整値)は0.47倍で、前月比0.03ポイント上回った。



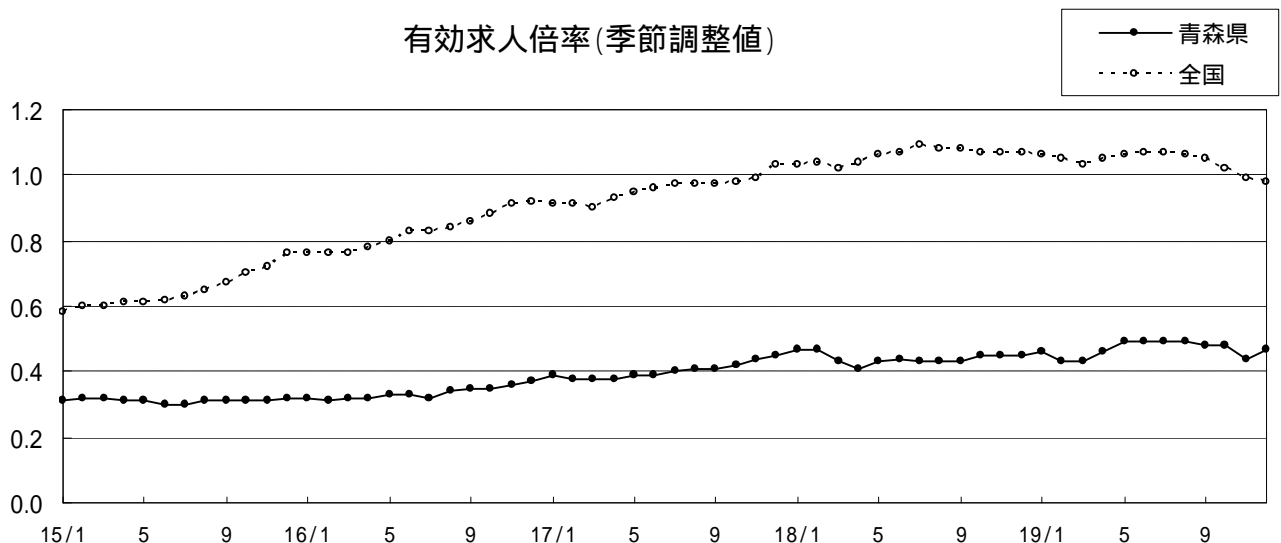
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H17=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	449,527 円	597,546 円	164.8	180.2	-0.8 %	-1.7 %
定期給与	226,843 円	271,348 円	98.6	100.4	0.4 %	0.2 %
特別給与	222,684 円	326,198 円				
総実労働時間	156.7 時間	150.2 時間	98.4	99.6	-2.9 %	-1.8 %
所定内労働時間	146.2 時間	138.8 時間	97.9	99.1	-2.9 %	-1.7 %
所定外労働時間	10.5 時間	11.4 時間	106.1	107.5	-3.5 %	-0.2 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料:青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成19年12月の青森市消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が101.1となり、前月と比べ0.7%の上昇、前年同月と比べ1.2%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は101.1となり、前月と比べ0.7%の上昇、前年同月と比べ1.2%の上昇となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.0となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.8%の下落となった。

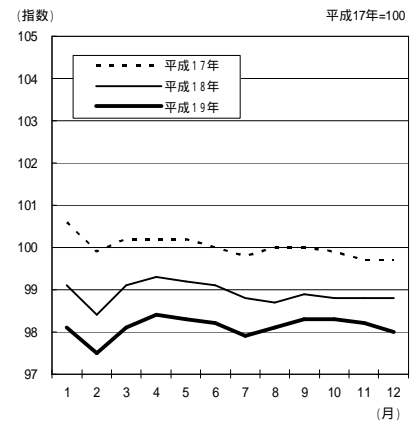
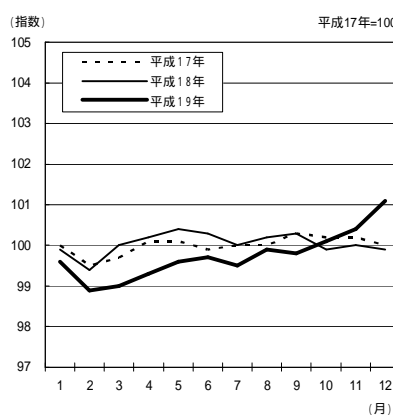
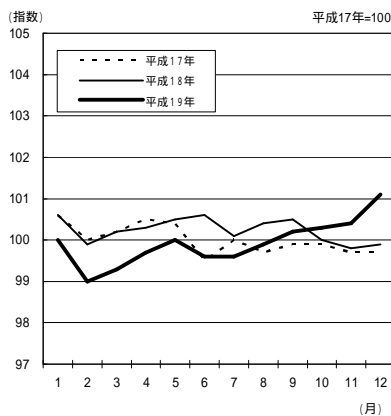
総合指数が前月と比べ0.7%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

総合指数の前年同月比が1.2%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの上昇が要因となっている。

図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き

図1 総合指数の動き

図2 生鮮食品を除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・ 家事用品	被服 及び履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教 育 娯 楽	養 老 諸 費
当月指数	101.1	101.1	101.4	98.0	99.6	100.2	99.2	117.0	92.6	101.5	99.7	103.3	101.2	94.0	100.8
前月比(%)	0.7	0.7	0.8	0.2	0.6	0.6	0.0	4.2	0.3	0.3	0.1	1.1	0.0	0.6	0.2
寄与度	0.70	0.66	0.67	0.13	0.17	0.03	0.00	0.47	0.01	0.01	0.00	0.12	0.00	0.06	0.01
前年同月比(%)	1.2	1.2	1.2	0.8	0.5	0.1	0.5	8.5	0.3	0.1	0.3	3.5	0.6	4.3	0.4
寄与度	1.20	1.13	1.01	0.51	0.14	0.01	0.10	0.92	0.01	0.00	0.01	0.38	0.02	0.43	0.02

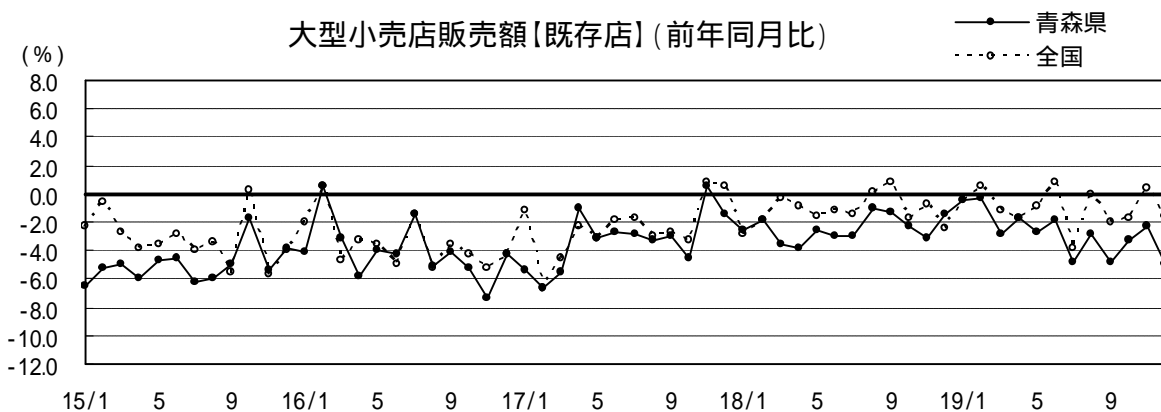
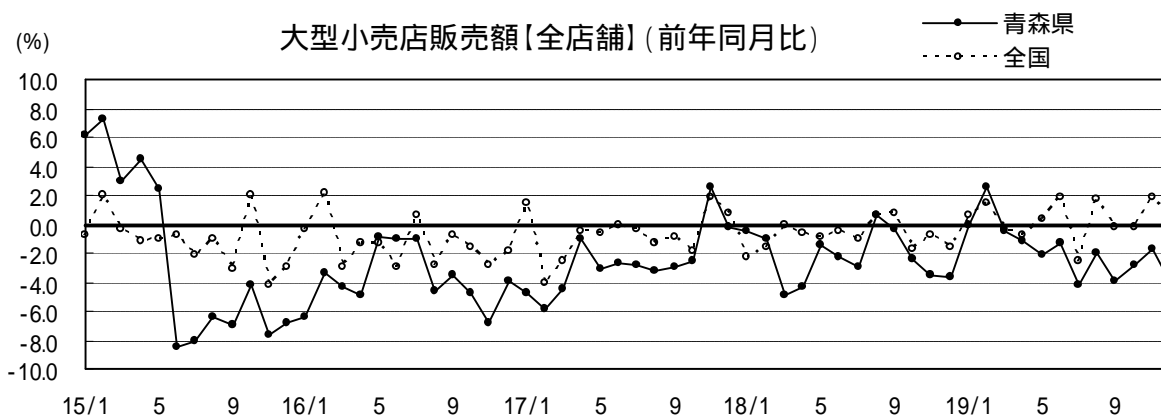
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」

寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

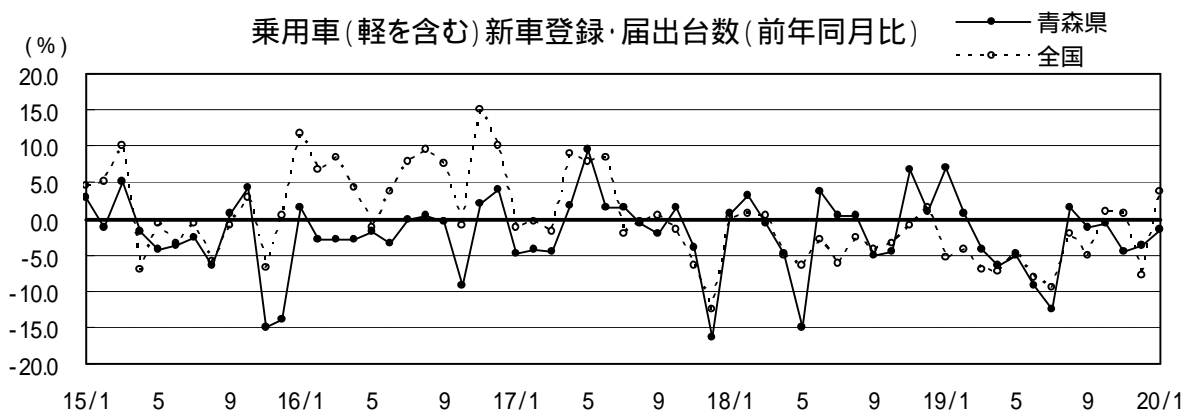
平成19年12月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが162億3千8百万円で前年同月比4.0%減と10ヶ月連続で減少、既存店ベースでは5.0%減と25ヶ月連続で減少となった。百貨店は暖かい日が続いたことから冬物衣料が振るわず、また、スーパーは生鮮食料品が振るわなかったことなどから、それぞれ10ヶ月連続、11ヶ月連続で前年を下回った。

平成20年1月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,812台で、前年同月比1.6%の減となり、5ヶ月連続で前年を下回った。普通車が7ヶ月連続で、また、軽自動車が4ヶ月ぶりにそれぞれ増加したものの、小型車が2ヶ月ぶりに減少したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

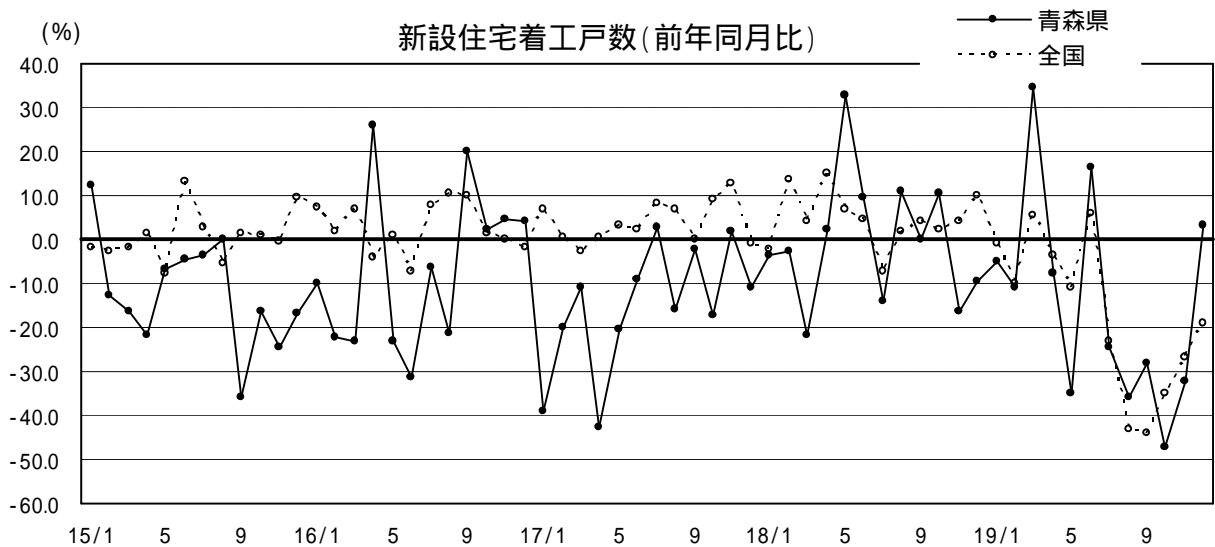
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2 - 5) 住宅建設

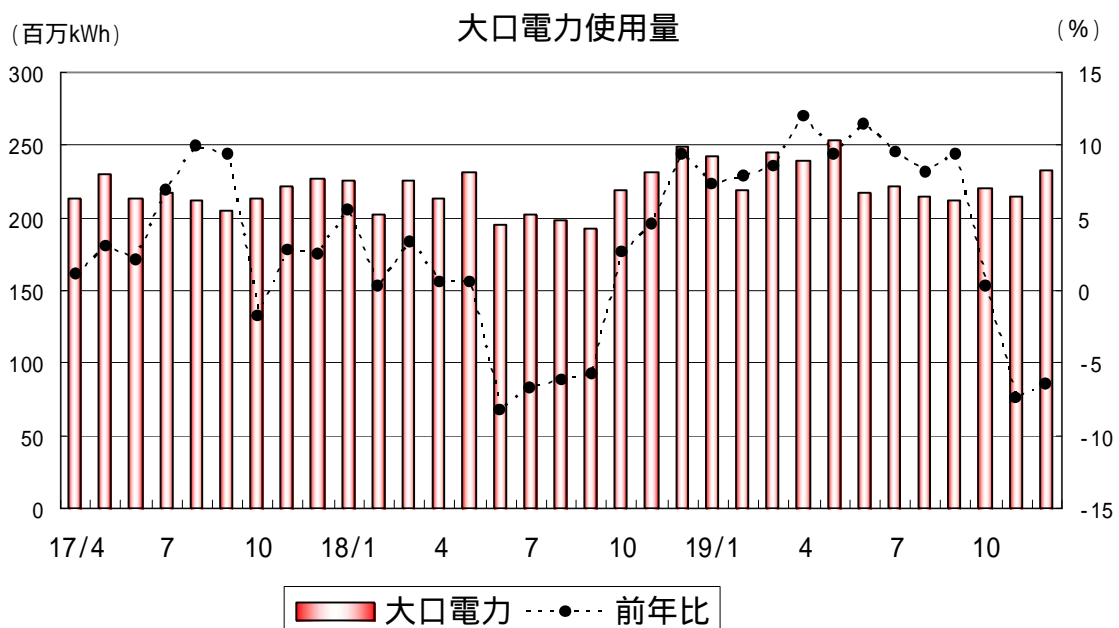
平成19年12月の新設住宅着工戸数は578戸で、前年同月比3.0%増となり、6ヶ月ぶりに前年を上回った。分譲が減少したものの、持家、貸家が増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2 - 6) 電力使用量

平成19年12月の大口電力使用量は2億3,275万 kWh で、前年同月比6.4%減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。「機械」などが稼働増となったものの、「鉄鋼」「窯業・土石」などが稼働減となったことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

(3) 青森県景気動向指数

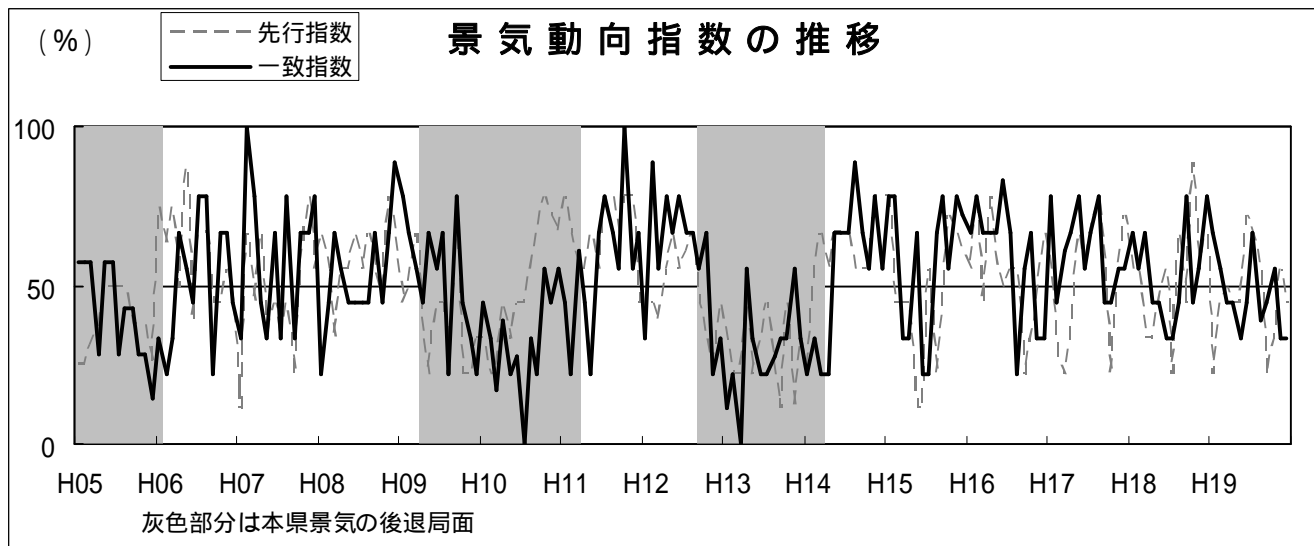
平成19年12月の青森県景気動向指数は、先行指数44.4%、一致指数33.3%、遅行指数50.0%となった。

先行指数は、2か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は、2か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、2か月ぶりに50%を下回った後50%となった。

12月の一致指数は、労働関連等の指標がマイナスとなったことから、50%を下回った。



個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中4指標がプラス）			
乗用車新車登録届出台数	5か月連続	生産財生産指数	4か月連続
新設住宅着工床面積	6か月ぶり	新規求人倍率（全数）	5か月連続
建築着工床面積	2か月連続	所定外労働時間指数	3か月ぶり
企業倒産負債額	2か月連続	入職率（製造業）	2か月ぶり
		中小企業景況DI	2か月連続
一致系列（9指標中3指標がプラス）			
鋳工業生産指数	2か月ぶり	大型小売店販売額（既存店）	4か月連続
電気機械生産指数	4か月連続	大口電力使用量	7か月連続
日銀券月中発行高	2か月連続	有効求人数（全数）	2か月連続
		総実労働時間数（全産業）	2か月ぶり
		海上出入貨物量（八戸港）	2か月連続
		東北自動車道IC利用台数	2か月連続
遅行系列（6指標中3指標がプラス）			
単位労働コスト（製造業）	3か月ぶり	勤労者世帯家計消費支出（実質）	4か月連続
輸入通関実績（八戸港）	2か月ぶり	常用雇用指数（製造業）	4か月連続
青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	3か月連続	1人平均月間現金給与総額	3か月ぶり

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」